

2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月6日

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所 東・名
コード番号 7975 URL <https://www.lihit-lab.com/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中 宏和
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)早川 大介 (TEL)06(6946)2558
四半期報告書提出予定日 2023年10月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	4,548	5.2	△105	—	△55	—	△3	—
2023年2月期第2四半期	4,324	△5.9	△4	—	100	△67.0	63	△67.9

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 196百万円(△44.8%) 2023年2月期第2四半期 355百万円(△5.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年2月期第2四半期	△1.00	—	—	—
2023年2月期第2四半期	18.76	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	12,870	80.3	10,331	80.3	—	—
2023年2月期	12,732	80.3	10,220	80.3	—	—

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 10,331百万円 2023年2月期 10,220百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00	—
2024年2月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,000	5.7	30	—	120	—	120	—	35.36	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期2Q	3,815,700株	2023年2月期	3,815,700株
2024年2月期2Q	422,502株	2023年2月期	422,390株
2024年2月期2Q	3,393,232株	2023年2月期2Q	3,393,376株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年3月1日～2023年8月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴いコロナ禍の収束に向けた動きが加速し、対面型サービスを中心に個人消費の持ち直しが進んだことや、円安を背景とする輸出企業の好業績維持とインバウンド需要の増加により、緩やかな回復基調が続いております。一方で、世界経済は欧米各国での金融引締め政策や中国での不動産市況悪化に伴う消費低迷等の影響で依然として減速傾向にあることから、先行きの景気下振れ懸念が払拭できない状態が続いております。

当業界におきましては、DXの進展に伴いITを活用した情報セキュリティや業務改善への取組みが強化され、企業でのペーパーレス化が更に進んだことで法人需要の縮小が続いておりますが、ライフスタイルの多様化により、個人需要においてはより趣味や嗜好に特化した製品の売上げが伸張しております。また、販売チャネルは、通販ルートへのシフトが進み、キャッシュレス支払の浸透によりEC市場の成長は続いております。店頭ルートも文具、事務用品専門店からスーパー・コンビニ・ドラッグストア等業態の垣根を越えた取扱先が増加しております。

このような状況のもと、当社グループでは事務用品等事業におきまして「良い品はお徳です」をモットーに、皆様の暮らしに豊かさをもたらす製品、環境や時代及び多様化する需要にマッチした魅力ある製品の開発を積極的に進め、売上の拡大に努めてまいりました。

主な新製品としましては、推し活応援サプライとして文具市場に新たなカテゴリーを提案いたしましたグッズ収納シリーズ「myfa(ミファ)」、少ない冊数の本やCD・DVDなどのケース類の収納物が倒れることなく整理できる「1冊でも倒れないブックスタンド」を発表し、売上を伸ばしました。また日本文具大賞2023において「myfaコレクションスタンド L/デコレーションポーチ ミニ」がデザイン部門にて、「1冊でも倒れないブックスタンド」が機能部門にて、「Noir×noir(ノアールノアール) コングレスケース」がサステナブル部門にてそれぞれ優秀賞を受賞し、「にゃんシーン ボックスペンポーチ」が日本文紙MESSE(メッセ)大賞2023のデザイン性部門において「最優秀賞(一財)大阪デザインセンター理事長賞」を受賞いたしました。一方既存製品では、主力製品の机収納シリーズの「机上台」、ロングセラーの「ルーパーファイル」や「カラークリヤーホルダー」のほか、「リクエストD型リングファイル」、OEM製品等が引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、事務用品等事業は新製品の積極的な投入や、量販及び海外向け売上の増加等により前年同期比増収となりました。不動産賃貸事業につきましては、テナントの稼働率がほぼ前年通りで推移したものの、一部空室の発生により前年同期比は減収となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,548百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

利益面につきましては、前年同期比増収ではあったものの想定額に及ばなかった事に加え、原材料価格の高止まり、円安に伴う輸入コストの上昇等が大きく響き、105百万円の営業損失(前第2四半期連結累計期間は営業損失4百万円)、経常損失は55百万円(前第2四半期連結累計期間は経常利益100百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は3百万円(前第2四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純利益63百万円)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ァ イ ル	1,326	29.2	4.1
バインダー・クリヤーブック	1,149	25.3	7.8
収 納 整 理 用 品	1,480	32.5	11.2
そ の 他 事 務 用 品	367	8.1	△13.0
事 務 用 品 等 事 業	4,324	95.1	5.6
不 動 産 賃 貸 事 業	224	4.9	△2.1
合 計	4,548	100.0	5.2

[事務用品等事業]

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

＜ファイル部門＞

クリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ルーパーファイル、クリップファイル等を主要製品とするファイル部門の売上高は1,326百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

＜バインダー・クリヤーブック部門＞

クリヤーブック、クリヤーポケット、ツイストノート、多穴リングバインダー等を主要製品とするバインダー・クリヤーブック部門の売上高は1,149百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

＜収納整理用品部門＞

ペンケース、机上台、クリヤーケース、バッグ、デスクトレイ等を主要製品とする収納整理用品部門の売上高は1,480百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

＜その他事務用品部門＞

スライドカッター、コンパクトホッチキス、カルテフォルダー、カルテブック等を主要製品とするその他事務用品部門の売上高は367百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は4,324百万円（前年同期比5.6%増）となり、利益につきましては、前年同期比増収ではあったものの想定額に及ばなかった事に加え、原材料価格の高止まり、円安に伴う輸入コストの上昇等が大きく響き、176百万円の営業損失（前第2四半期連結累計期間は営業損失86百万円）となりました。

〔不動産賃貸事業〕

不動産賃貸事業は、テナントの稼働率がほぼ前年通りで推移したものの、一部空室の発生等により前年同期比減収となり、売上高は224百万円（前年同期比2.1%減）となり、営業利益は70百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ138百万円増加し、12,870百万円となりました。これは主として現金及び預金が増加したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、2,538百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金、繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ111百万円増加し、10,331百万円となりました。これは主として繰延ヘッジ損益、為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。その結果、自己資本比率は80.3%となりました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ598百万円減少し1,675百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、729百万円となりました。これは主として棚卸資産、売上債権の減少、減価償却費等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は、23百万円となりました。これは主として投資有価証券の売却等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、167百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済、配当金の支払等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期通期連結業績予想につきましては、2023年10月2日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。詳細につきましては、2023年10月2日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077,469	1,675,697
受取手形及び売掛金	1,467,322	1,332,377
電子記録債権	302,122	274,173
商品及び製品	2,049,307	1,821,280
仕掛品	113,390	97,417
原材料及び貯蔵品	677,186	668,891
その他	342,185	235,335
貸倒引当金	△3,687	△3,287
流動資産合計	6,025,297	6,101,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,076,842	2,032,561
機械装置及び運搬具(純額)	114,740	109,465
土地	2,925,180	2,925,180
その他(純額)	90,742	96,277
有形固定資産合計	5,207,506	5,163,484
無形固定資産	16,379	29,614
投資その他の資産		
投資有価証券	1,096,500	1,144,000
その他	392,762	437,474
貸倒引当金	△6,112	△6,112
投資その他の資産合計	1,483,149	1,575,362
固定資産合計	6,707,035	6,768,461
資産合計	12,732,333	12,870,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	185,843	227,751
短期借入金	130,000	78,000
未払法人税等	13,793	17,606
賞与引当金	137,786	114,868
役員賞与引当金	12,490	15,250
その他	305,540	370,829
流動負債合計	785,454	824,306
固定負債		
長期借入金	315,000	285,000
繰延税金負債	224,775	264,848
役員退職慰労引当金	193,499	201,824
退職給付に係る負債	711,150	694,438
その他	282,034	268,143
固定負債合計	1,726,459	1,714,254
負債合計	2,511,913	2,538,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	6,521,178	6,432,941
自己株式	△401,259	△401,363
株主資本合計	9,361,780	9,273,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	498,514	549,918
繰延ヘッジ損益	86,605	144,377
為替換算調整勘定	242,987	331,198
退職給付に係る調整累計額	30,531	32,854
その他の包括利益累計額合計	858,639	1,058,349
純資産合計	10,220,420	10,331,788
負債純資産合計	12,732,333	12,870,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	4,324,833	4,548,731
売上原価	3,023,721	3,283,834
売上総利益	1,301,111	1,264,896
販売費及び一般管理費	1,305,963	1,370,363
営業損失(△)	△4,851	△105,466
営業外収益		
受取利息	26	28
受取配当金	12,481	17,161
受取保険金	6,478	2,550
為替差益	90,742	33,778
雑収入	4,249	3,214
営業外収益合計	113,977	56,732
営業外費用		
支払利息	3,841	1,242
支払手数料	3,257	3,742
雑損失	1,154	1,513
営業外費用合計	8,253	6,497
経常利益又は経常損失(△)	100,872	△55,231
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51,843
特別利益合計	—	51,843
特別損失		
固定資産廃棄損	1,634	—
特別損失合計	1,634	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	99,237	△3,387
法人税等	35,565	17
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,672	△3,405
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	63,672	△3,405

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,672	△3,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,403	51,403
繰延ヘッジ損益	131,619	57,772
為替換算調整勘定	133,502	88,210
退職給付に係る調整額	3,515	2,322
その他の包括利益合計	292,041	199,709
四半期包括利益	355,714	196,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	355,714	196,304
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	99,237	△3,387
減価償却費	139,830	134,825
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△600	△400
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	87	△13,365
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,113	8,325
受取利息及び受取配当金	△12,507	△17,189
支払利息	3,841	1,242
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△51,843
固定資産廃棄損	1,634	—
売上債権の増減額(△は増加)	256,744	162,894
棚卸資産の増減額(△は増加)	△101,252	299,770
仕入債務の増減額(△は減少)	△229,246	39,561
その他	△66,817	100,901
小計	93,063	661,331
利息及び配当金の受取額	12,507	17,189
利息の支払額	△3,848	△1,246
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△80,301	52,311
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,421	729,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,853	△38,601
無形固定資産の取得による支出	—	△5,810
投資有価証券の取得による支出	△787	△1,845
投資有価証券の売却による収入	—	80,256
その他	△8,746	△10,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,387	23,415
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△148,000	△82,000
自己株式の取得による支出	△41	△104
配当金の支払額	△84,702	△84,460
その他	△690	△690
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233,433	△167,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,847	12,481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△249,552	598,227
現金及び現金同等物の期首残高	2,259,988	1,077,469
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,010,435	1,675,697

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,095,348	11,944	4,107,292	—	4,107,292
その他の収益(注)3	—	217,540	217,540	—	217,540
外部顧客への売上高	4,095,348	229,484	4,324,833	—	4,324,833
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,067	1,067	△1,067	—
計	4,095,348	230,552	4,325,900	△1,067	4,324,833
セグメント利益又は損失(△)	△86,648	81,797	△4,851	—	△4,851

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,324,034	11,844	4,335,879	—	4,335,879
その他の収益(注)3	—	212,852	212,852	—	212,852
外部顧客への売上高	4,324,034	224,696	4,548,731	—	4,548,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,139	1,139	△1,139	—
計	4,324,034	225,836	4,549,871	△1,139	4,548,731
セグメント利益又は損失(△)	△176,182	70,715	△105,466	—	△105,466

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

(重要な後発事象)

固定資産の取得

当社は、2023年8月21日開催の取締役会において下記の固定資産の取得を決議し、2023年9月21日に物件の引渡しが完了しております。

1. 取得の理由

本物件の取得は、不動産賃貸事業の強化と更なる収益の増強を進めるためのものであります。

2. 取得資産の内容

- ①売買契約締結日 2023年9月5日
- ②内容 土地及び建物 賃貸用住居
- ③所在地 東京都墨田区菊川
- ④取得価額 665,234千円

3. 取得資金

本物件の取得資金については、全額自己資金で賄っております。

4. 今後の見通し

本物件の取得による当連結会計年度の連結業績に与える影響につきましては、物件引渡日である2023年9月21日以降に係る不動産賃貸収入が生じる見込みであります。